

躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School



スーパーサイエンスハイスクール (SSH)における学びについて

令和7年1月18日(土)@IGES

埼玉県立所沢北高等学校

教頭・篠田俊文

躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School

【本日お話しさせていただくこと】

■学校紹介

■SSHの取組について

■カーボンニュートラル社会に向けた連携・協働について

■今度の課題について



躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School

【学校紹介】

昭和49年開設(開校51年目)昨年度50周年記念式典等実施
生徒数1065名 (男子605 女子460)

1年・・・普通科8クラス＋理数科1クラス

2年・・・普通科8クラス＋理数科1クラス

3年・・・普通科8クラス＋理数科1クラス

※現在、SSH I 期目1年目(4回目の申請でやっと認定)



躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School

【SSHの取組について】

(1) 目的「2050年カーボンニュートラル社会に向けて、所沢周辺地域や埼玉県、日本や国際社会の持続的発展を牽引する科学技術人材を育成する。」

(2) 目標「自ら課題を見つけ、その解決に向けて他者と協働しながら、主体的に探究する資質・能力を育むためのカリキュラムを開発する。」

① 先進的な科学技術の知識及び技能を習得し、科学的な視点から社会課題を捉え、探究する力を育成する。

② 文理を問わず、科学を中心とした教科等横断・融合的な視点から課題研究や探究的な学習活動に取り組み、論理的に推論する力を育成する。

③ 大学や研究機関、行政等との連携を図り、カーボンニュートラル社会に向けた課題解決を行うことで、主体性や協働性を育む。





研究開発課題

2050年カーボンニュートラル社会に向けて、地域や社会の持続的発展を牽引する科学技術人材の育成のためのカリキュラム開発

科学技術・理数系
コンテスト等への
出展数の増加

探究

【研究開発目標】

自ら課題を見つけ、その解決に向けて他者と協働しながら、主体的に探究する資質・能力を育むためのカリキュラム開発

女子生徒の
理系進学者
の増加

【テーマⅠ】

理数科の教育課程を改定し、課題研究の質的・量的な向上を図る。

習得

【テーマⅡ】

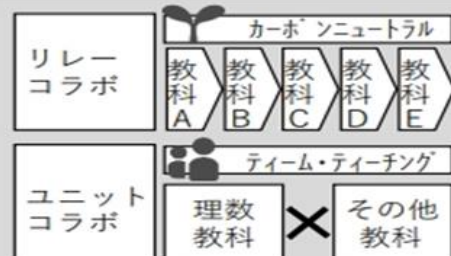
普通科の教育課程を改定し、STEAM型探究活動や課題研究（希望者）に取り組む。

活用

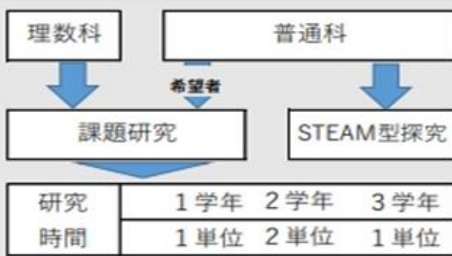
【テーマⅢ】

大学・研究機関、所沢市等の行政、企業等との連携・協働により、課題研究や探究活動を発展・充実させる。

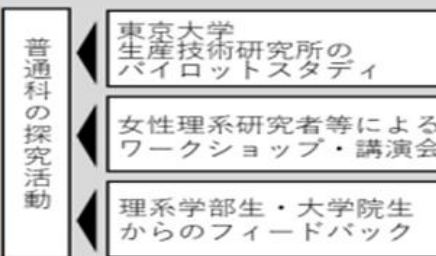
教科等横断型授業（理数科1年1単位）



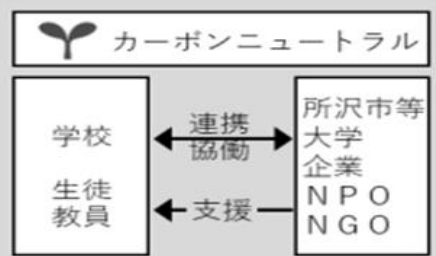
課題研究（2年2単位、3年1単位）



STEAM型探究活動（各学年1単位）



大学・研究機関や行政等の連携・協働



物事の本質に迫る
真正の学びの実現

全校体制によるSSH型カリキュラム・マネジメントの実施

探究的な学習活動
の発展・充実

躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School

【カーボンニュートラル社会に向けた連携・協働について】

■令和4年10月12日「カーボンニュートラルに係るワークショップ」の開催。理数科1年生対象65分×5コマ。(一社)環境政策対話研究所、所沢市マチごとエコタウン課との連携・協働により実施。

■令和5年7月13・14日「カーボンニュートラル・セミナー」の開催。1学年全生徒対象。65分×3コマ×2日(一社)環境政策対話研究所、所沢市マチごとエコタウン課、青年環境NGO・CYJとの連携・協働により実施。

■令和5年7月25日「ゼロカーボンシティ所沢市・狭山丘陵でのカーボンニュートラル・緑地保全体験」希望生徒10名。株式会社JTB、所沢市マチごとエコタウン課、みどり支援課等との連携・協働により実施。

■令和5年9月28日所沢市主催「所沢市ゼロカーボンシティ・シンポジウム」に代表生徒1年生4名が参加。「若者たちからの提言」として、約15分間の施策提言を行った。



躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School

【カーボンニュートラル社会に向けた連携・協働について】

■令和6年7月11・12日「カーボンニュートラル・セミナー」の開催。1学年全生徒対象。65分×3コマ×2日。昨年度の内容をブラッシュアップし、（一社）環境政策対話研究所、所沢市マチごとエコタウン課、青年環境NGO・CYJとの連携・協働により実施。

■令和6年6月、所沢市ゼロカーボン運動プロジェクトチームの発足。本校生徒がプロジェクトチームに参加し、活動を開始。

■令和7年1月18日「将来のかながわを担う若者世代と一緒に地球環境問題について考えよう」参加。

■令和7年2月9日「所沢市環境講演会」本校生徒が発表・提言等を行う予定。

■令和7年3月12～18日「カーボンニュートラル先進国視察（デンマーク海外研修）」



躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School

【今後の課題について】

- 理数科の課題研究や普通科の探究的な学習活動において、カーボンニュートラル社会の実現に資する研究等が行われていくこと。
- 所沢市との連携・協働を更に密にするとともに、他地域の行政・企業・学校等との連携・協働を模索していくこと。
- 未来(カーボンニュートラル社会)を切り拓く高校生の「学びと成長」や「資質・能力の育成」を目的・目標としたSSH事業を運営していくこと。



躍進する文武両道の進学校

SSH
Super Science Highschool



埼玉県立所沢北高等学校 普通科・理数科

Saitama Prefectural TOKOROZAWA KITA Senior High School

■御清聴ありがとうございました。■

※御意見・御質問等ございましたら、下記まで御連絡ください。

所沢北_篠田 (shinoda.toshifumi@pref.saitama.lg.jp)

